

# しろうさぎ



vol.43

2016.1.1

島根大学  
SHIMANE UNIVERSITY

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください

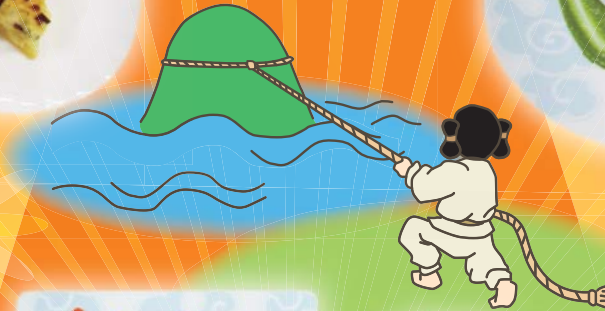
## 出雲の神話



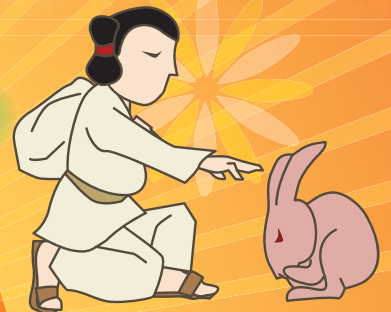
「スサノヲのヤマタノオロチ退治」



「オオクニヌシと因幡の白兔」



「国引き神話」



## CONTENTS

●表紙の説明は次ページをご覧ください >>>>

### 特集 『島大病院発の「モノづくり」 ～現場の声から、患者さんのために～』

- 「出雲food神話 ～入院生活の楽しみに～」  
産学連携センター 中村 守彦 教授  
栄養治療室 平井 順子 室長
- 「点滴サポーター ～患者さんの安心・安全のために～」 看護部 矢野 牧江 看護師
- 「簡易採血台 ～待ち時間の短縮を目指して～」 検査部 三島 清司 臨床検査技師長

- \*病院探検隊！～材料部編～
- \*病院のまめ知識  
～冬にも起こる食中毒の予防～
- \*私のここだけの話
- \*ニュース&トピックス
- \*海外から見た「出雲の不思議」
- \*イベント等のお知らせ



## 2016 年頭のご挨拶



病院長 井川 幹夫

あけましておめでとうございます。本年の干支の「申(さる)」は「伸」の原字とされています。「申」年に病院職員一同の「人」を加え、さらに「伸び」のある1年としていきたいと思っております。

外科系の高度医療では、小児の心臓疾患に対する手術は順調に症例を重ね、治療成績も良好で、本院は山陰の小児心臓手術の拠点となっています。ロボット手術支援システム「ダ・ヴィンチ」による前立腺がん手術も多数実施し、他の泌尿器がん、早期胃がん、子宮頸がんにも適応を拡大しています。さらに消化器外科では、3D画像による精度の高い内視鏡手術を実施しています。

患者さんのアメニティー関連では、病院玄関に配置したコンシェルジュによる受診患者さんのサポート、入退院センター経由で病棟に入院される患者さんのエスコート、集中治療室、救命救急センター病棟で治療を受けている患者さんのご家族用に広い待合室の確保、患者さん用の散歩コースの設置も行っています。また患者さんのアンケート、地域の有識者で構成される「患者さんの視点に立った医療を考える会」から頂いた意見を病院運営の改善に活用しています。

本年も、患者さん・ご家族のご意見をお聞きしながら、患者さん中心の医療を提供し、地域で愛される病院ナンバーワンを目指して、病院職員とともに努力してまいります。

本年も何卒よろしく願い申し上げます。

### 表紙について...

『産学連携』で生み出された病院食『出雲 food 神話』のロゴと、料理の写真です。入院患者さんの中で、希望者に提供した3日間のコース料理です。島根大学は物語(神話)の展開とコース料理の調和をコンセプトとしたロゴ「出雲 food (フード) 神話」を商標登録しています。(商標第5782233号)

ロゴをよく見ると『food』が出雲国風土記などに使われている『風』という字になっていますね。

## 出雲 food 神話



### 1日目

『ササノヲのヤマタノオロチ退治』  
前菜: キッシュ、えびゼリー季節野菜添え



### 2日目

『オオクニヌシと因幡の白兔』  
魚料理: ムースパイ包み  
スープ: 小松菜のスープ



### 3日目

『国引き神話』  
肉料理: 国引きローストポーク  
デザート: モンブラン

# 「島大病院発の「モノづくり」 ～現場の声から、患者さんのために～」

「産学連携」という言葉を耳にしたことがありますか？「産学連携」とは、新しい技術の研究開発や、新しい事業を作り出すことを目的として、大学などの教育機関・研究機関と民間の企業が連携することを言います。

島大病院では、現場で働く医療スタッフの意見を、産学連携センターが取りまとめ、患者さんのためになる製品などの開発を、地元企業と共同で行っています。

今回はこのような島大病院発の「モノづくり」の考案者である皆さんにお話を聞きました。

## 「出雲food神話 ～入院生活の楽しみに～」

産学連携センター  
中村 守彦 教授



栄養治療室  
平井 順子 室長



**Q** 「出雲food神話」ってなに？

**A** 出雲神話と地元の食材を組み合わせたコース料理である「神話食」というコンセプトを考案し、物語（神話）の展開とコース料理の調和をモチーフにしたロゴ「出雲food(フード)神話」を商標登録（7月31日）したものです。

この商標を活用した事業として、神在月の去る10月20日～22日の3日間、本院で「出雲food(フード)神話」特別メニューを提供しました。この企画は、私たちと調理師が中心となり、民間のレストランのシェフの協力を得て実現したものです。

献立はカロリーなど制限が多々ある中で、神話の展開に沿って考案し、島根大学が開発した「おろち大根」も前菜として取り入れました。

初日はサツマイモのキッシュを鏡、野菜のえびゼリーを勾玉になぞらえてスサノオを表現しています。2日目は小松菜のスープにうさぎの形のメレンゲを浮かべ、タイのムースパイ包みをオオクニヌシが担ぐ袋に見立てた

「因幡の白兔」。3日目はローストポークを大地にし、ケーキのモンブランにチョコの杖をさして、出雲国風土記の国引き神話を表現しました。患者さんには神話の内容とそれに対応したメニューのロゴ入り小冊子も手渡しました。

「どのような料理が出てくるのか、わくわくした」、「勾玉や剣からパワーをもらった」など、患者さんの感想も好評であったことから、今後も病院内でこの特別食事業を継続する予定です。

**Q** 今後の展望は？

**A** 地域の活性化、観光の新たな資源となるように地元の食産業や自治体と連携した事業を計画中です。「出雲food(フード)神話」のコンセプトにあったコース料理を四季折々の地元の食材を使用して、今回のフランス料理だけでなく日本料理、中華料理なども視野に入れ、展開の可能性を広げる計画です。必要に応じて栄養治療室が栄養・カロリーなどの監修にあたります。

他にも島大病院では、次のような製品が産学連携によって開発されています。

- 妊娠中でも着れる「マタニティ白衣」
- 調湿木炭「炭八」
- バラ芳香剤「さ姫」 など

詳細は産学連携センター地域医学共同研究部門ホームページに掲載されていますのでご覧ください。  
<http://www.med.shimane-u.ac.jp/CMRC/index2.htm>



# 「島大病院発の「モノづくり」 ～現場の声から、患者さんのために～」



## 「点滴サポーター ～患者さんの安心・安全のために～」

看護部 矢野 牧江 看護師

**Q** 「点滴サポーター」ってなに？

**A** 点滴をしている患者さんが、自分で針を抜いてしまわれることや、体動等による外的要因で、針が抜けてしまうことはよく起こることです。しかし、針が抜けたまま放置すると、重大な事故につながる可能性があります。このような問題を解決するために考案したのが「点滴サポーター」です。

このサポーターは、留置針の上から取り付けられ、外れるとアラームがなるようになっていて、音で異常を知らせることができます。さらにナースコールとも連動しているので、すぐに看護師が駆けつけることができます。

上記のような機能を持ちながらも、寝ているときなどに外れにくく、圧迫感が少ないものを目指しています。また衛生面への配慮として、洗濯できるように付属の機器をできるだけ小さくするな

ど、取り外せるようにすることも考えています。この発明は既に特許申請済みです。

**Q** どのような思いで「点滴サポーター」を考案したのでしょうか？

**A** 点滴事故（自己）抜去が多い中、患者さんの苦痛や不安の軽減と、看護師のストレスや労力軽減にも対応できるものはないかと考えていました。

そんな時に産学連携センターのニーズ調査が契機となり、大学および地元企業の方と共に製品開発することになりました。ひとつのアイデアが、試行錯誤しながら形になっていくことに喜びや楽しさを感じています。

これを機に今後、もっと多くの方の素晴らしいアイデアがどんどん出てくることを期待しています。

## 「簡易採血台 ～待ち時間の短縮を目指して～」

検査部 三島 清司 臨床検査技師長



**Q** 「簡易採血台」ってなに？

**A** 検査部では、外来患者さんの採血待ち時間が最大でも20分を越えないように心がけています。しかし、採血方法の工夫等による時間短縮には限界がきていました。そこで、患者さんが多くいらっしゃるピーク時に、普段からある固定された採血台に加えて、移動式の採血台を使うことを考えました。

ところが、市販の移動式の採血台には、患者さんのプライバシーを守るための仕切りや、本人確認のためのバーコード読み取り機能が備わっていませんでした。

そこで考案したのが「簡易採血台」です。上記のような機能はもちろん、女性スタッフでも持ち運びができる重さや、採血待ちの順番を知らせるチャイムや番号表示の機能の搭載を目指しています。また、

「簡易」とは言え、患者さんが立ち上がる時などに体重をかけても、十分に耐えられる強度があります。

**Q** どのような思いで「簡易採血台」を考案したのでしょうか？

**A** 以前は、診察後に採血を行っていたため、その日の診察は前回の採血結果を用いて行っていました。しかし今は、より適切な診療をするために診察前に採血し、その検査結果に基づいて診察することが多くなっています。そのため、患者さんにとっては来院から診察までの時間が、全体として増えている場合があります。待ち時間をできるだけ少なくして、患者さんの満足度向上につなげたい、そんな思いで考案しました。

製品はまだ開発段階なのですが、早めに導入ができるように準備を進めています。



今回の「病院探検隊!」は最新鋭の設備と管理システムによって、安全で質の高い医療器材を供給している「材料部」編です。参加者のみなさんに、普段は見られない「材料部」の中を探検していただきました。案内役は、材料部 周藤 幸子 看護師長、林 誠 技術職員です。

### 1 材料部ってどんなところ?



材料部では、手術などで使用された医療器材の洗浄・滅菌を行い、再び供給することによって、安全な医療の提供を支えています。

写真は、実際に内視鏡手術に使われる器材を手にとって見ていただいている様子です。



### 2 器材の洗浄を見学



器材に付着した汚れをきれいに洗浄します。

ジェット洗浄、超音波洗浄、すすぎ、熱水消毒、乾燥までを自動でできる洗浄機を使います。

スタッフは感染を防ぐために、個人防護具を着用して作業を行います。

### 4 器材の滅菌を見学



細菌を通さない、特殊な包装をされた器材は、高圧の蒸気や滅菌ガスによって滅菌されます。

その後厳しいチェックをすべて合格して初めて、医療器材は現場へと供給されます。

日頃まったく見る機会のない場所で、安全の配慮への熱意を感じました。

参加者

### 3 手術に使う器材セットの組み立てを体験!



器材には、それぞれにICタグが取り付けられていて、いつ・誰が・どんな作業をしたか、どの患者さんに使われていたか、などを全て記録しています。このシステムは島大病院が世界で初めて導入しました。

また、たとえ器具の名前が正確に分からなくても、タグを読み取らせることで手術に必要な器材を正確に揃えることができます。



次回は、人形型のシミュレータを使った胃カメラ操作の体験等ができる「光学医療診療部」編を予定しています。(1月28日(木) 15:00~16:00)参加費無料でどなたでもご参加いただけます。定員10名なのでお申込はお早め! TEL 0853-20-2019

# 病気の **まめ** 知識

呼吸器・化学療法内科

あわ や ゆき かず  
**栗屋 幸一**



## 「冬にも起こる食中毒の予防」

秋から冬にかけては、ノロウイルスによる食中毒が気になる時期です。特に今年は新型のノロウイルスが流行するおそれがあるとも言われています。ウイルスが感染するのを予防するためには、「手洗い」が最も重要です。

手洗いは適切なタイミングで行なう必要があります。それは、①調理を行う前後 ②食事の前 ③トイレに行った後 ④下痢をしている家族、患者の汚物処理やオムツ交換を行った後 ⑤外出から帰った後 ⑥動物に触った後 ⑦咳・くしゃみを手でおさえた後、などです。

また、手洗いは水だけでは不十分で、石鹸やハンドソープをよく泡立てて洗う必要があります。洗った後、汚れが残しやすいのは「指先」「指と指の間」「手首」です。これらの部位に気をつけて念入りに洗ってください。手を洗った後は、乾いた清潔なタオルかペーパータオルで拭き取るようにしましょう。

### 【参考Webサイト】

厚生労働省「食中毒」 [http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/shokuhin/syokuchu/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/index.html)  
「適切な手洗い」の動画 <https://www.youtube.com/watch?v=z7ifN95YVdM>

## 私のここだけの話

リハビリテーション科

ま にわ そう きち  
**馬庭 壮吉**



### 「犬の失踪」

先日朝、犬の散歩をしようと犬小屋に行ってみると姿がありません。一応家のまわりを探しましたが見つからず、警察署に電話をしました。どうやらうちの犬がごやっかいになっていることが判明しました。前夜逃走した犬は近くの民家(屋外で焼き肉中)にたどり着き、保護され警察に通報されたようです。体重20kgの猟犬で、捕獲の際に暴れたのではないかと肝を冷やしておりましたが、比較的行儀は良かった様で胸をなで下ろしました。この事件から、①最近散歩の回数と時間が減少していたこと、②犬小屋のフェンスのゆるみは心のゆるみ、③心優しい隣人と市民生活を守る警察官に感謝、の3つの教訓(反省点)を得ました。

NEWS &  
ニュース&トピックス  
TOPICS

## 病院内市民ギャラリー作品紹介

10~12月、全日本写真連盟の会員である、大成清美様、安部由美子様、嘉藤誠一様、松浦良光様の写真作品を展示しました。

1月からは、島根大学卒業生であり、世界で活躍中の池平徹兵様のワークショップ壁画『希望 HOPE』を特別展示しています。ぜひ、市民ギャラリーにお立ち寄りいただき、実際の作品をご覧ください。

今後も、広く絵画や写真の作品を募集し、市民の皆さんと一体となった院内環境の改善に取り組みます。詳細につきましては、本院ホームページ(<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/pickup/gallery.html>)に掲載しておりますので、ご覧ください。



大成様らの写真作品8点  
(B病棟1階渡り廊下)

\*お問合せ・作品展示の申込はこちら  
島根大学医学部総務課企画調査係

TEL 0853-20-2019



# 海外から見た「出雲の不思議」

外国の方から見た「出雲の不思議」をお聞きしました。今回はバングラデシュからの留学生である、精神医学講座所属のロマーナさんに答えていただきました。

私が出雲で暮らし始めて4年が経ちます。日本に来る前は大きな町に住んでいて、バスが主な移動手段でした。そこに比べると出雲は小さな町で、ほとんどバスに乗らないし、道路を走っているのは自家用車の方が圧倒的に多いようです。そんな時に不思議に思うのが、バスに人が乗っていないことが多いのに、時刻表どおりに走っていることです。人が乗ったり乗らなかったりすると、どうしても時間がずれるはずなのに、どうして時刻表どおりにきちんと走っているのでしょうか。このことがずっと不思議でたまりません。

出雲では、例えば午後4時に約束したら、5分前には到着していて、時間丁度にドアをノックするといった人がほとんどです。この時間を正確に守るという文化をありがたく思うと同時に、とても誇りに思います。



精神医学  
ロマーナさん

★ちなみにロマーナさんの写真を撮影する時も、約束の5分前にしっかり来ていただきました!(編集者)

## イベントなどのお知らせ

### 島大病院 ちょっと気になる健康講座

島大病院には、専門知識を備えた、医師をはじめとする様々な職種の職員が医療・医事業務に携わっています。

本院に来院される患者さんや一般市民の方への少しばかりのサービス提供事業として、健康や医療に関するミニ講座を定期的で開催していくこととしました。

実施内容は下記のとおりです。



対象 患者さんほか一般市民 場所 外来1階 外来待合ホール 時間 11:00~11:30

回数	月日	担当	講師	テーマ
第106回	1月7日(木)	看護部(不妊症看護の認定看護師)	堀内 あさみ	みんなで妊活!
第107回	1月14日(木)	MEセンター	糸賀 修也	MEセンターって何をするところ?
第108回	1月18日(月)	総合診療科	藤村 洋太	痙攣
第109回	1月28日(木)	放射線治療科	猪俣 泰典	放射線治療について
第110回	2月4日(木)	乳腺・内分泌外科	百留 美樹	乳がん検診のこれから
第111回	2月18日(木)	産科・婦人科	加藤 一郎	更年期について
第112回	2月25日(木)	入退院管理センター	岩田 春子	病院内の“よろす屋”サービス
第113回	3月3日(木)	環境保健医学	神田 秀幸	お酒は誰もが楽しいものに!
第114回	3月10日(木)	腎臓内科	江川 雅博	慢性腎臓病といわれたら ~日常生活で気をつけること~
第115回	3月17日(木)	消化器内科	三代 剛	腸内細菌を元気にしよう!!
第116回	3月24日(木)	呼吸器・化学療法内科	津端 由佳里	肺がん治療の最前線
第117回	3月29日(火)	呼吸器外科	岸本 晃司	からだにやさしい手術

### 病院ボランティアコンサート開催予定

1月15日(金)19時より

●大社リコーダー倶楽部

2月19日(金)19時より

●出雲ハーモニカ同好会

3月はお休みです



開催場所: 玄関待合ホール

### いきいき健康講座「まめなかくらぶ」 放映予定(出雲ケーブルビジョン)

1月放送

産科 皆本 敏子 先生  
「出生前診断について」

### 誰でも参加出来る糖尿病教室

1月18日(月)

●いびきが聞こえたら…  
~無呼吸症候群について~  
谷口由紀 検査技師(糖尿病療養指導士)  
●誰かに教えたくなる“生活リズム”の話  
石川万里子 糖尿病看護認定看護師  
(糖尿病療養指導士)

3月7日(月)

●知って得する 薬に関する豆知識  
岩元陽香 薬剤師  
●糖尿病患者さんのための、がん対策  
守田美和 内科医師(糖尿病専門医)

時間: 15時~16時(受付14:30~)  
場所: 外来中央診療棟3階「だんだん」  
(病院正面玄関エレベーターから3Fへ)

参加費無料!  
予約不要です☆

## 世界糖尿病デー(11.14) 出雲大社御本殿を青い灯で照らしました!



ブルーにライトアップされた  
出雲大社御本殿

内分泌代謝内科 守田 美和

11月14日は世界糖尿病デーです。「青い輪」をシンボルマークとして世界中で有名な建物をブルーで照らすイベントが開催されます。私達は、今年はなんと出雲大社御本殿、宇迦橋の大鳥居、旧大社駅を青い灯で照らしました。その他、旧大社駅でのパネル展示、出雲大社境内での無料血糖値測定や記念講演会などで糖尿病の啓発を行い、延べ2000人以上の方にお越しいただきました。

前日(11月13日)には神戸川で今年で5年目となる世界糖尿病デー花火大会を行いました。本番の様子などはホームページ、Facebookに掲載していますので、下記よりご覧ください!

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/diabetes/>





# 島大病院 書籍のご紹介



## 好評発売中!

島大病院・1年分の健康講座を  
この1冊にまとめました。

## 島大病院 ちょっと気になる 健康講座

Shimane University Hospital Lectures on Health

監修: 島根大学医学部附属病院  
A5判/並製本/154頁/オールカラー  
発売: 今井出版 定価: 本体 926円+税



## 46 項目

- ◆食べ物だって腸に詰まります
- ◆なぜ、くすりは水で飲んだ方がいいの?
- ◆がん相談支援センターのご紹介 など

ちょっと気になる  
病気・健康・病院施設のはなし

### 『ちょっと気になる健康講座のすすめ』

島根大学医学部 特任教授(元病院長・前学長)  
小林 祥泰

島大病院から外来ロビーで毎週行って来た「ちょっと気になる健康講座」をまとめた本が出版されました。柿を食べすぎると腸に詰まるとか、肺にも年齢があると、呑み込んだカプセル内視鏡による腸の検査、短期間で退院出来て術後が楽な内視鏡手術の話、痰が出る時の咳はむやみに止めない方がよいとか、酒を飲まない人にも起こり肝がんにもなる怖い非アルコール性脂肪肝炎治療の生活改善、不眠症の話から睡眠時無呼吸の発見法、動悸がしたら重症脳梗塞の原因になる心房細動の検査をすぐ受けましょうとか、皆さんが心配になる加齢による物忘れと認知症の違い、老化に伴う骨粗鬆症や変形による膝痛、脊柱管狭窄症等によるロコモ症候群の早期発見、予防など、日頃からちょっと気になるけどなかなか聞きにくい話が満載です。また日本のトップクラスの緩和ケア病棟やがん相談支援センターの紹介もあります。この本で1年分の講座を受けて健康寿命を延ばしましょう。

### 『目からウロコの落ちる健康講座』

島根大学医学部 特任教授(元島根大学理事)  
塩飽 邦憲

「食べ物だって腸に詰まります」のように臨床医学の第一線で活躍する医師やスタッフでしか書けないハッとさせる話が満載です。どんな食品が詰まって、腸閉塞を起こすのでしょうか? 薬は、なぜコップ一杯の水で飲まないといけないのでしょうか? 生きている限り、痰と咳があるのが当たり前? 不眠や睡眠時無呼吸症候群、筋肉の衰えの防止、冬の減塩などなどの目からウロコの話が満載。本書は、外来ロビーで週一回開催し、好評を博している健康講座をまとめたものです。また、大学病院でしか実施していないカプセル内視鏡、内視鏡手術や放射線治療などの先進的な医療、地域医療を支援する緩和ケア、がん相談など。島根大学附属病院の理念「地域医療と先進医療が調和する大学病院」をわかりやすく紹介した本になっています。日頃の健康管理と上手に医療機関を活用するために、お手元において参考になさって下さい。きつとお役に立ちますよ。

お近くの主要書店、インターネットでお買い求めいただけます。ご注文は **今井印刷株式会社 0859-28-5551**

## 編集 後記

今回は「島大病院発の「モノづくり」～現場の声から、患者さんのために～」の特集で、現場のスタッフの声から、患者さんのことを考えた製品などが生み出されるという話を聞かせていただきました。「ハイテク」でなくとも、ありそうでなかった「ローテク」から、地元企業と協力して、世間の皆さんに役立つ製品が生まれるということを知りました。しろうさぎ1月号がきっかけで、現場のスタッフからより活発にアイデアが出るようになればいいなと思います。次号は新年度、4月発行予定です。

しろうさぎ  
についてのお問い合わせ先

医学部総務課 企画調査係 広報担当  
TEL : 0853-20-2019  
E-mail : mga-kikaku@office.shimane-u.ac.jp